



2023年6月7日

各 位

会社名 株式会社 ヤシマキザイ
代表者名 代表取締役社長 高田 一 昭
(コード番号: 7677 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役管理本部長 阿 部 昌 宏
(TEL 03-4218-0096)

連結子会社における不適切な会計処理に係る疑義の発覚及び 第79回定時株主総会の継続会の開催方針に関するお知らせ

2023年6月7日開催の取締役会において、第79回定時株主総会の継続会の開催方針を決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 連結子会社における不適切な会計処理に係る疑義の内容及び定時株主総会の継続会の開催方針を決定した理由
当社は、2023年6月29日開催の第79回定時株主総会（以下、本総会といいます。）の目的事項のうち、報告事項「第79期（2022年4月1日から2023年3月31日まで）事業報告の内容、連結計算書類の内容並びに会計監査人及び監査等委員会の連結計算書類監査結果報告の件」及び「第79期（2022年4月1日から2023年3月31日まで）計算書類の内容報告の件」（以下、第79期決算報告といいます。）に関しまして、本総会において株主の皆さまにご報告する予定でございました。

しかしながら、2023年3月期の監査期間中に当社の中国における連結子会社において、現地の監査法人による監査を実施しましたが、一部の取引先で残高確認作業と差異分析作業が完了していないために監査報告書（確定版）が提出されておりませんでした。現地の監査法人より監査報告書（確定版）が提出されていないことにより、連結決算の手続きが滞り、監査に支障をきたしていることから、残高確認作業と差異分析作業及び当該作業が滞っている原因の調査、その他監査手続きの遂行の妨げとなる事象等の有無の調査を始めていました。

本件調査については、客観性・公平性の確保のため、調査は独立性のある外部会社も活用し、販売プロセスの検証・当該子会社の財務関連資料の分析・売上計上及び経費支出の適正性の調査及び現地スタッフのヒアリング等を実施しています。

調査の過程において、売上高の期間帰属や在庫処理等に関して疑義のある取引が検出されたため、監査手続きを進める上でそれらの取引の適正性に係る調査及び決算への影響の有無について検証が必要となっております。

更に、預け在庫金額の確認作業や一部新規に取引を開始した商流に対する取引の適正性の疑義についての検証を進めているところであり、その具体的な決算への影響額またはその金額規模についても調査中であります。

そのため、調査の期間につきましては、現時点で2023年6月中を予定しています。

売上高の期間帰属に疑義のある取引につきましては、売掛金の残高確認の段階で差異が発生していたこともあり、2023年5月15日に公表した「2023年3月期決算短信」では当該取引先に係る売掛金を残高確認における差異に相当する額を売上高から控除しておりました。その後、本件調査により決算短信で控除していた金額の一部については適切に処理されていたことが判明したため、現時点では、当該金額である売上高1,700万円程度の戻し入れを行い、その結果、税金等調整前当期純利益が500万円程度増加することを想定しています。

在庫処理に関して疑義のある取引につきましては、実態として納入商品の試験費用であったところ、中国の慣行にもとづく税務証憑の関連で商品として在庫処理を行ったものであります。現地の税務・会計処理方法に沿ってはいるものの、連結処理上は実態に合わせて原価または経費への振替あるいは出庫処理を行うことを検討中であり、仮にそれらの処理を行った場合は、現時点では、税金等調整前当期純利益が1,100万円程度減少することを想定しています。

当該調査に関しましては、現地での調査手続きやその結果に対する評価、決算への影響額の算定に加え、その報告をもって実施される会計監査人による監査手続き等に相応の時間を要する見込みであることから、本総会の招集通知に添付すべき第79期の事業報告、連結計算書類、計算書類、及び監査報告書等をご提供することができず、本総会において第79期決算報告ができない状況となりました。

つきましては、別途本総会の継続会（以下、本継続会といいます。）を開催すること、及びその開催日時並びに場所の決定を取締役会にご一任願うこと（以下、本提案といいます。）について、本総会において株主の皆さまにお諮りする予定でございます。

本総会において本提案をご承認いただきましたのちに、改めて第79期の事業報告、連結計算書類、計算書類、会計監査人の監査報告、及び監査等委員会の監査報告を添付のうえ、本継続会の開催ご通知を株主の皆さまに送付し、本継続会を開催させていただき所存でございます。

なお、本継続会は、本総会の一部になりますので、本継続会へご出席いただける株主様は、本総会において議決権を行使できる株主様と同一となります。

2. 第79回定時株主総会の開催概要

①日 時：2023年6月29日（木）午前10時

②場 所：東京都中央区日本橋一丁目3番13号 東京建物日本橋ビル3階
 コングレスクエア日本橋 コンベンションホールC・D

③目的事項

報告事項

(1) 第79期（2022年4月1日から2023年3月31日まで）事業報告の内容、連結計算書類の内容並びに会計監査人及び監査等委員会の連結計算書類監査結果報告の件

(2) 第79期（2022年4月1日から2023年3月31日まで）計算書類の内容報告の件

※報告事項につきましては、本総会では報告せず、本継続会にてご報告申し上げる予定です。

決議事項

第1号議案 取締役（監査等委員である取締役を除く。）7名選任の件

第2号議案 監査等委員である取締役3名選任の件

※決議事項につきましては、本総会に上程し、お諮りする予定です。

3. 継続会の開催概要

当社は、第79回定時株主総会において、会社法第317条に基づき株主総会の「続行」の決議を行う方針といたします。当該決議に基づく継続会の開催概要については、以下のとおりです。

①日時場所：本継続会の日時及び場所については、本総会において本提案をご承認いただきました後、決定次第、速やかにお知らせいたします。

②目的事項

報告事項

(1) 第79期（2022年4月1日から2023年3月31日まで）事業報告の内容、連結計算書類の内容並びに会計監査人及び監査等委員会の連結計算書類監査結果報告の件

(2) 第79期（2022年4月1日から2023年3月31日まで）計算書類の内容報告の件

4. 今後の対応について

当社は、当該連結子会社に係る検証作業を早急に進め、検証作業が完了した後、速やかに会計監査人である監査法人トーマツに取引の適正性及び決算への影響を報告し、連結財務諸表に対する監査法人による監査手続きを進めるとともに、「第79期有価証券報告書」を提出期限内に提出するよう進めておりますが、提出期限を延長する事態となった場合は、改めてお知らせいたします。

株主・投資家の皆さまをはじめ、取引先及び関係者の皆さまには、多大なご迷惑とご心配をお掛けしますこと、深くお詫び申し上げます。

以 上